

3月・4月の管理ポイント



寒い冬も終わりいよいよ芝生が目覚ます時期です!!
春先の管理で、しっかりした根をつくっていきましょう。

春先の灌漑管理が重要です... **レボ (REVO)**

春の水管理が芝生の根をしっかり伸ばすポイントです!!

グリーンの表層を少し乾燥気味にして、根に軽いストレスを与え下層にある水分まで伸ばさせます。

レボは土壌粒子の表面を極端に薄い膜で覆いますので、土壌中の空隙率がアップし、表層の過湿を防ぎます。

定期処理することによって、根が下に伸びやすい環境を整えてやり、夏が来るまでにしっかりと根を伸ばしておきましょう。

使用量：レボ 2ml/m² 散布水量：200ml~1L/m² 散布回数：1ヶ月に1回

サッチ層の除去には... **サッチ・リムーバー**

3月、4月の更新作業時に処理することにより、グリーンのサッチ層を軽減しましょう。

他の微生物由来のサッチ分解剤とは異なり、酵素を主体としているので土壌中でも安定して働きます。

従って農薬類の混用や近接散布が可能。

使用量：1~2g/m² 0.5L/m²散布 使用回数：月1~2回

ミミズの糞塚防止には... **みみんず水和剤**

ミミズの糞塚防止には...

3月、4月は、ミミズが活発に動き回り糞塚が多くなる時期です。

使用する時は、降雨後や朝か夕方の散布がお奨めです。

ゴルフ場の皆さんには、「いろいろ使ってみたが、やっぱりみみんずだ」とご好評いただいております。

使用量：1000倍 2L/m²

グリーンメカ・メカプラス

芝生の貯蔵養分を補うために...

3月、4月は、休眠明けの植物が生長する時期です。

特に3月上旬の萌芽期は、一斉に芽出しさせることが重要です(生育のバラツキをなくす)。

休眠前に貯蔵しただけでは不足しがちな糖類、ミネラルをグリーンメカ、メカプラスを処理することによって、補っていきましょう。

使用量：5~10ml/m² 1L/m²以上

除草剤散布のマーキングには... **カラーマーカー**

春の除草剤散布の際、散布箇所確認用《カラーマーカー》にご使用下さい。

内袋は、水溶性フィルムを使用していますので、そのままタンク車に入れていただけます。

作業時に手や衣服を汚しませんが、作業にはゴム手で取扱い、タンク投入前に汗などでぬれるのも防止下さい。

使用量：1000Lに対し1袋(50g)

芝生のストレスに影響を与えている物質

高温、乾燥、過湿といった環境条件下では、芝生はストレスを感じて健全な生育をしません。ストレスを感じた芝生は、植物体内部で何が起きているのでしょうか。

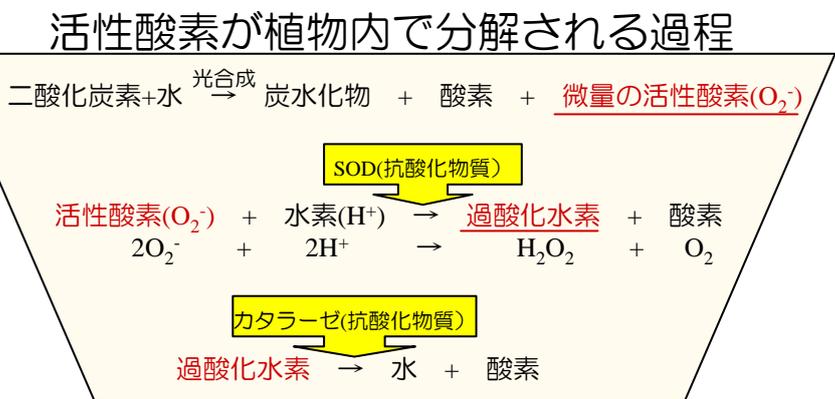
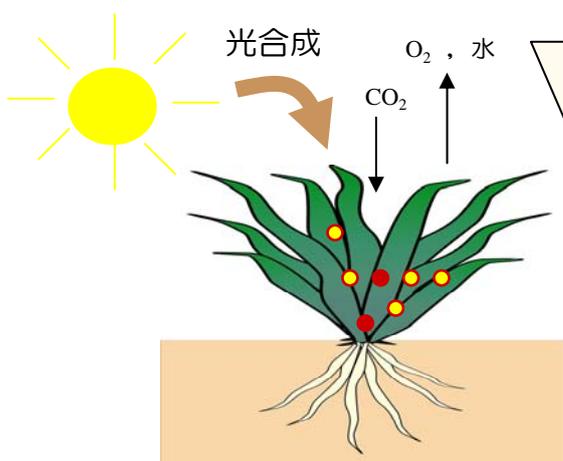
植物内部で悪影響を及ぼす物質：活性酸素

活性酸素：

植物が光合成を行うときに副産物として、微量だが生産される。

植物を弱らせる原因となる物質で、増加すると細胞が破壊されたり光合成がストップして生育阻害や枯死を引き起こします。

代表的な活性酸素：スーパーオキシド・過酸化水素・ヒドロキシラジカル・一重項酸素



● 活性酸素
● 炭水化物

植物内部で好影響を及ぼす物質：抗酸化物質

抗酸化物質：

植物体内の活性酸素を除去する酵素。SOD、APX、カタラーゼなど

SOD(スーパーオキシドジスムターゼ)：スーパーオキシドを除去する酵素で、植物体内で発生する有毒なスーパーオキシドを分解し過酸化水素と酸素にする。

APX(アスコルビン酸パーオキシダーゼ)：過酸化水素を除去する酵素で、植物体内の過酸化水素を除去し、その毒性によって植物が障害を受けるのを防いでいる。APXを持たない植物は、生育が遅くストレスに弱いことがわかっている。

カタラーゼ：過酸化水素を酸素と水に分解する酵素